



消費者や地域から求められる農業展開を！

令和6年度 スタート

夢と目標を持って日々努力

研修農場新聞

2面拡大号

(公財) 農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

この4月から、第3期生は2年間の研修を終え都内各地で営農を開始。研修農場には新たに第5期生が入講し、第4期生とともに新規就農を目指して実践研修を始動。

失敗を恐れず何でもチャレンジ

第3期生の研修成果報告会が3月15日に立川庁舎講堂で行われた。ここでは将来生産しようとしている作物の実証栽培結果や経営的な評価等が報告され、行政や普及センター等から有益な助言等もいただき、大変有意義な報告会であった。報告の中では全員とも自分の農業経営理念や収支予想、将来構想等を語っており、信念をもって営農していくことにも心強く、誇らしくも感じた。

そして3月22日には、第3期生の修了式が厳かかつ華やかに行われた。理事長から「皆さんなら絶対大丈夫だ！一つお願い、一等賞を目指して頑張ってください」と熱い一



業を 展開 して い ほ



修了した第3期生の5名 (上)
研修了式後に参加者全員で記念写真 (右)



ルが送られた。修了生はこの4月から各地で営農を開始している。就農後は慌ただしい日々が続くと思うが、健康を第一に消費者や地域に必要とされる魅力ある農

第4期生も奮起

先輩たちの背中を見てきた第4期生(2年生)たちも、既に



就農モデルでの実証栽培が始まっている。4月中旬以降、農家派遣研修や講義等

で大忙しだが、皆1年の時とは別人のように積極的に取り組んでいる。就農本番モードでチャレンジできる大切な年。何時、何処にどのような商品を、どんなお客様に、幾ら位で売っていくのかをシミュレーションしながら、失敗を恐れず、実践経験を重ねてほしい。

第5期生入講式

令和6年度第5期生入講式が4月5日に立川庁舎講堂で行われた。新しい研修生は、20から40代の5名。寺崎理事長からは「ご入講おめでとうございます。ぜひこの2年間でいろいろなと見て、触れて、聞いて、感じて、自分なりの就農イメージを描いてほしい。覚悟をもって入講された皆様には、当財団としても全力でバックアップしていく。将来の東京農業の新たな担



入講式にあたり寺崎理事長から祝辞が (上)
研修了式後に参加者全員で記念写真 (左)

い手として、東京農業の更なる発展に向けてご活躍されることを心から祈念している」と歓迎の挨拶をいただいた。また、ご来賓には東京都農林水産部の渋谷課長や東京都農業振興事務所野瀬課長、東京都農業会議の相原事務局長にお越しいただき「皆様、ご入講誠にありがとうございます。東京で新しい農家になるため、様々な知識や技術をしっかりと身につけてほしい。都の農業振興プランの中でも担い手の確保・育成は最重要事項として位置づけされており、就農後も都として様々な支援事業で全面的にサポートしていくので、先ずはしっかりと研修をしていただきたい。自分を信じて楽しみながら学んでほしい。東京農業の新たな担い手として地域で活躍されることを期待している」など、心温まる祝辞をいただいた。

1~3月の主な出来事

- (1月)
 - ・5日 特別講義、10日 理事長視察、11日 ミニ直売
 - ・18日 青梅市役所訪問、20日 内定者説明会
 - ・24~25日 農機資材展、29日 八王子農地調整
 - ・フードバンク提供 10、12、15、19、24、26、29日
- (2月)
 - ・2日 武蔵村山農地視察、7日 第4期生経営計画調整
 - ・14日 雪印種苗オンライン講座、19日 大島町農業者等視察
 - ・26日 本庁事業説明、29日 全国農業担い手サミット視察
 - ・フードバンク提供 2、9、14、16、26、28日
- (3月)
 - ・5日 農業振興事務所とJA中央会挨拶、6日 東京農大来所
 - ・11日 八王子、13日 武蔵村山農地調整、15日 成果報告会
 - ・22日 第3期生修了式、13・21日 ミニ直売、28日 理事長賞
 - ・フードバンク提供 1、8、11、13、15、22、25、27、29日

職員の異動

(転入) 小野寺洋史、丸山哲

朗、(固有事務採用) 寺門正和、(アシスタント職採用) 武彩伽、(転出) 浅田幸枝、竹内光子、(臨職退職) 吉村智成、佐藤 仁

研修生の今

3月末、就農直前の第3期研修生から、今後の抱負等を語っていただいたので一言紹介したい。

高見さん…あつという間の2年間。お世話になった方々には感謝でいっぱい。就農後は早く地元の方々に認知してもらえよう一杯頑張りたい。

関さん…しっかりと経営を行い、瑞穂町の代表的な農家になりたい。常に謙虚な姿勢で、厳しい状況でも、諦めず努力し続け、周りの

人への感謝を忘れず、魅力ある農業経営を行っていききたい。

玉川さん…実習を通して多くの技術や知識を習得できたことを改めて実感しており、自信を持って就農できる。アカデミー卒業生の誇りを胸に、地域を担える農家になれるよう邁進したい。

中村さん…充実した日々でした。お世話になった方々に必ず恩返しします！常に謙虚に、責任感、夢を持ち続け、自発的に行動していく。農場長の教え通りに、儲ける農業ではなく儲かる農業を目指し、プライドを持って、農家人生を歩む。どんなことが起きても得意の忍耐力で乗り越えてきたい。

雨宮さん…期待と大丈夫かという不安、やれるという自信、やらなければという責任感を行ったり来たりの複雑な心境。当面やるべき事だらけで追われるようですが、しっかりと地に足つけて慌てず、確実に進めていきたい。

第4期生の抱負など

次に2年目を迎える第4期生の今の抱負について語ってもらったので紹介する。

磯田さん…2年次はいよいよ研修の「本番」が始まると感じている。これまでに

得た基礎知識・技術を活かして、営農開始に向けたコミュニケーション及び検証を行う、挑戦の一年間になる。たくさん失敗して多くを学ぶためにアカデミーに入講したので、1年次に学んだ基礎を大切にしつつも、これまで以上に積極性をもって挑戦し、営農に必要な新たな知識・技術の習得に努めたい。

加藤さん…2年次は環境や資機材など、アカデミーでしか試せないこと、現時点で就農時に整えられそうなことを比較して、何にどの程度の投資が必要か、指導員の皆さまの見解も踏まえて判断できるように研修に臨みたい。

熊川さん…就農後をイメージしながら、自分が計画した事業や作付計画に沿って作物を生産すること、就農予定の地域の方々とこの繋がりを作り、地域に貢献するために自分にできることは何かを、しっかりと見定めていきたい。

佐藤さん…就農に向け自信を深める一年にしたいと思っている。まずは一人で良いものを栽培できるようにするという事、次に栽培管理も含めた時間管理、そして販売先の確保・営業活動の3点に重きを置いて学んで

いこうと思っている。

横山さん…就農後の経営をイメージして、作業に臨みたい。1年次は、農業についてをはじめと触れることばかりで、インプットすることがほとんどでした。そのため、この一年で学んだこと、経験したことを活かして、2年次は主体性をもって、日々の作業を行っていききたい。

第5期生の抱負など

この4月に入講した第5期生からも今後の抱負を語ってもらったので紹介する。

太田さん…葛飾区から参りました。現在は28歳で埼玉県の市場に5年間勤めていた経験があり、本当に美味しい農産物を作りたいという一心で八王子にきました。精一杯やらせて頂きますのでよろしくお願ひします。

高橋さん…前職の半導体エンジニアとして培ったモノづくりの経験を生かし、安心・安全・美味しい野菜をつくる農家となり地域活性化に貢献していきたい。

田中(圭)さん…新規就農に必要な知識と経験を貪欲に学び、吸収していきたい。2年間という限られた期間、精一杯頑張りたい。

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願ひします！

なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINE Eでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左下QRコードより可能。

Home Page

研修農場 スナップ

2024年 1~3月

2年目を迎える第4期生は2~3月から主体的に各々自分の区画圃場の土づくりをし始める

あきる野市の大福農園さんから、ナスの接ぎ木方法について、ピン接ぎとチューブ接ぎの方法を教えていただいた

あきる野市の大福農園さんは、大量に果菜類の苗生産も行っており、大規模での温床(苗床)作りについて体験をさせていただきました

農業デザインのプロの先生から、ブランド化に向けたPRの仕方や設計等について講義を受けました

2月の寒い中、実地研修で、はじめてのパイプハウス作り挑戦し、綺麗に完成させることができました

令和6年度の全メンバーです。どうぞ宜しくお願いします♪ (4/8)

2年生は自分の作付計画に基づいて自ら積極的に作業(ネギのチェーンボット)に取り組んでいる

毎年恒例であるが、3月下旬には第4期生が4月に入講する第5期生のためにジャガイモを植えている